

看護・介護のネットワーク

ソーシャルワーカーの A さんよりオーストラリアの高齢者介護の方向性を考える上で、興味深い参考文献を送っていただきました。下記は、その日本福祉士会出版の文献の抜粋です。

人口の高齢化問題（注：2005年）

現在、オーストラリア人口の13%が65歳以上です。（中略）過去20年間で、総人口の増加が29%であるのと比較すると、85歳以上の高齢者人口は同期間に163%増加しているのです。

人口の高齢化に関する議論は主に4つの社会政策問題の影響を受けています。

第一の問題は、高齢者ケアのコストと構造に関連しています。現在、高齢者の大多数は家族によるケアを受けていますが、約7%は、中から高度のケアを提供するナーシングホームか、ホステルに滞在しています。社会政策は、家庭でケアをうけ、できる限りの自立の維持に支援する傾向にあります。過去7年間（1995年から2001年）の国民調査から地域ケアと移住型ケアのバランスが地域を拠点とするケアへと移行していることがわかります。地域高齢者ケアパッケージ（CACPs）やレスパイトケアのように地域で生活する高齢者を支援するために設計されたプログラムが増加していることを受けて、地域で生活するための支援を受けている高齢者の割合が増加しています。（オーストラリア保険・高齢者省（DHA2002）

大多数の高齢者は、在宅地域ケアプログラム（HACC）に基づいた政府資本の支援を受けて自宅で暮らしています。（DHA2005）

第2の問題は、85歳以上人口の増加に伴い認知症の高齢者が増加していることです。社会政策では、専門的施設でのケアや在宅支援を

掲げています。

第3の問題は、保険医療のコストです。これは非常に異論の多い議題で、高齢化と不健康であることを混同する傾向にあります。（中略）この問題への連邦政府の対応は、主に医療保険の民営化ですが、ほとんどの高齢者は民間医療保険料を支払わないので、この対応は短期的施策というより長期的施策です。

第4の問題は、退職後の収入と関連しています。1980年代中期に、人口の高齢化の傾向が現れて以来、この問題は、連邦政府にとって主要な懸念となっています。政府は広範で資産調査に基づく公的資金による老齢年金から、自家保険を元にした退職後の収入へと政策を移行しました。しかしながら、雇用主の退職年金への加入が義務付けられても、現在の州資金退職年金への依存は緩和していません。一定した、オーストラリアの退職者の74%は、第一の収入源として、現行では65歳以上の男性と62歳以上の女性を対象にした老齢年金に頼っています。（家庭地域サービス省（FACS2002）。現在は、ほとんどの退職者は、退職年金貯蓄では暮らしていけず、現政府は、老齢年金への金銭的優遇制度の付加も含め、退職を遅らせることを強く奨励したり、高齢労働者の価値を奨励したりしています。

文献出典： オーストラリアのソーシャルワークをとりまく社会的、政治的、実践的な状況について（ルース・フィリップ／ジュード・アーウィン、シドニー大学准教授／訳：九次 奈美）

介護・看護師・理学療法士・ソーシャルワーカーなど、高齢者ケアにかかわっている方がいらっしやいましたら、ご連絡ください。
連絡先： みどり midori.aki429@gmail.com
0418-540-865

日本語学習者の珍回答

もう10年くらい前のことでしょうか。私がまだメルボルン大学で現職の教師として働いていた頃、他の大学の友人から送られてきたメールに「中国人向けの日本語試験とその回答」（実話らしい）と言うのがありましたので、ご紹介しましょう。

- 問1：「あたかも」を使って短文を作りなさい。
答え：冷蔵庫に牛乳があたかもしれない。
- 問2：「どんより」を使って短文を作りなさい。
答え：僕はうどんよりそばのほうが好きだ。
- 問3：「もし～なら」を使って短文を作りなさい。

- 答え：もしもし、奈良県の人ですか。
- 問4：「まさか～ろう」を使って短文を作りなさい。
答え：「まさかりかついだ金たろう」
- 問5：「うってかわって」を使って短文を作りなさい。
答え：彼は麻薬をうってかわってしまった。

笑えると共に、「まさかりかついだ金たろう」なんて言葉をよく思いついたなと感心させられました。

（久保田満里子 記）